



県内経済情勢報告

平成 3 1 年 4 月

財務省東北財務局秋田財務事務所

県内経済情勢報告の調査方法の概略

◆調査対象・期間

前回(平成31年1月30日発表)以降に公表された指標と、今回判断(4月中旬)までのヒアリング情報

◆資料の分析とヒアリング調査

①各種指標を網羅した資料・計数分析

当局で直接調査している法人企業景気予測調査(回答企業96社)に加え、各関係機関が調査公表している各種の調査指標を詳細に分析。

②県内企業へのヒアリング調査実施

各調査項目すべてにおいて広範かつ深度あるヒアリング調査を実施、県内企業からの協力を得て基本的には実際に訪問して状況を聴取。

対象は主要企業のみならず中堅・中小企業にも実施。

上記により定量面・定性面を併せて分析し、経済情勢を立体的に判断。

なお、本報告の設備投資、企業収益、企業の景況感については、平成31年3月12日公表した「法人企業景気予測調査(平成31年1-3月期)」の結果を活用しており、計数や判断コメントは3月に発表した内容と同じである。

－ 秋 田 県 の 経 済 概 況 －

■ 総論

【総括判断】 「県内経済は、持ち直している」









項 目	前回(31年1月判断)	今回(31年4月判断)	前回比較
総括判断	持ち直している	持ち直している	

(注) 31年4月判断は、前回1月判断以降、4月に入ってから足下の状況までを含めた期間で判断している。

(判断の要点)

個人消費は、コンビニエンスストア販売、家電販売などが前年を上回っていることなどから、持ち直している。生産活動は、電子部品・デバイスが高水準であること、はん用・生産用・業務用機械が堅調であることなどから、緩やかに持ち直している。雇用情勢は、有効求人倍率が高水準で推移していることなどから、改善している。

【各項目の判断】

項 目	前回(31年1月判断)	今回(31年4月判断)	前回比較
個人消費	持ち直している	持ち直している	
生産活動	緩やかに持ち直している	緩やかに持ち直している	
雇用情勢	改善している	改善している	
設備投資	30年度は増加見込み	30年度は増加見込み	
企業収益	30年度は減益見込み	30年度は減益見込み	
企業の景況感	「上昇」超に転じている	「下降」超に転じている	
住宅建設	前年を上回っている	前年を上回っている	
公共事業	前年度を上回っている	前年度を上回っている	

【先行き】

先行きについては、雇用・所得環境の改善が続くなかで、各種政策の効果等を背景に、景気が回復していくことが期待される。ただし、海外経済の不確実性などに留意する必要がある。

■ 各論

1. 個人消費 … 持ち直している

百貨店・スーパー販売は、前年を下回っている。飲食料品が総菜等を中心に底堅く推移しているほか、贈答品に動きがみられるものの、衣料品や身の回り品が低調となっている。

コンビニエンスストア販売は、前年を上回っている。調理麺等のほか、高単価の新商品も好調となっている。

ドラッグストア販売は、前年を上回っている。化粧品や日用品が好調となっている。

ホームセンター販売は前年並みとなっている。工事関連用品が堅調であるものの、除雪用品が低調となっている。

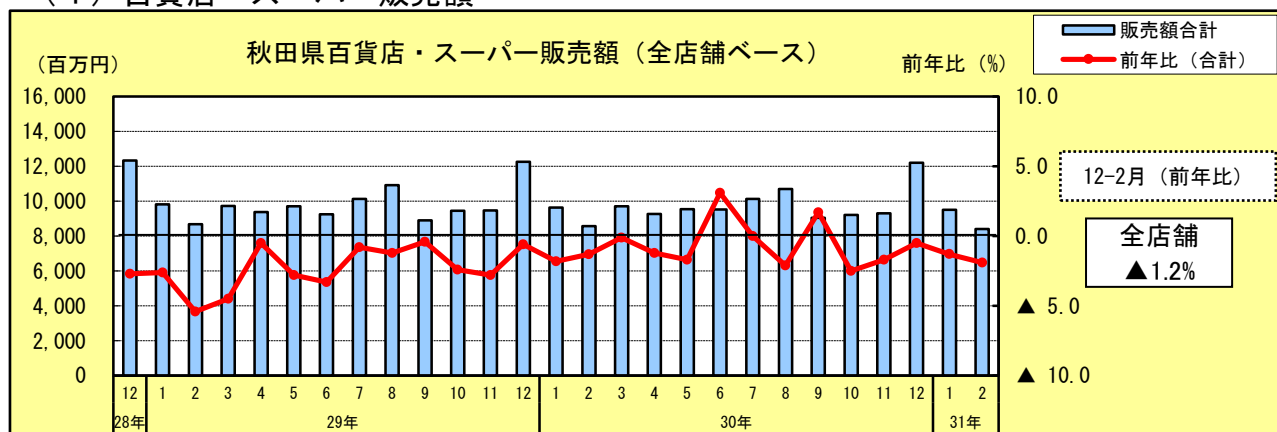
家電販売は、前年を上回っている。テレビや冷蔵庫等が堅調となっている。

乗用車販売は、小型車、軽自動車を中心に前年を下回っている。

旅行取扱の状況は、海外が堅調となっている。

このように、**個人消費は、持ち直している。**

(1) 百貨店・スーパー販売額



『百貨店・スーパー販売額（全店舗ベース）』

(前年比：%)

区分	全国	東北	秋田県	衣料品	身の回り品	飲食料品	家庭用品	その他の商品
29年	0.0	▲ 0.8	▲ 2.2 (▲ 2.2)	▲ 7.0	▲ 2.8	▲ 1.3	▲ 6.6	▲ 2.8
30年	0.0	▲ 0.3	▲ 0.7 (▲ 1.8)	▲ 5.7	▲ 6.5	▲ 0.4	▲ 1.8	2.4
30. 1-3	0.5	▲ 0.3	▲ 1.1 (▲ 1.1)	▲ 6.6	▲ 7.7	0.3	▲ 3.6	▲ 3.0
4-6	0.2	▲ 1.0	▲ 0.0 (▲ 1.5)	▲ 3.9	▲ 3.3	▲ 0.4	0.7	5.9
7-9	0.2	0.8	▲ 0.2 (▲ 1.6)	▲ 7.8	▲ 7.4	0.2	▲ 0.3	3.2
10-12	▲ 0.7	▲ 0.8	▲ 1.5 (▲ 2.8)	▲ 4.6	▲ 7.2	▲ 1.6	▲ 3.8	3.4
30. 10	▲ 0.2	▲ 2.1	▲ 2.5 (▲ 3.8)	▲ 9.3	▲ 5.9	▲ 1.9	▲ 4.7	1.4
11	▲ 1.7	▲ 1.0	▲ 1.7 (▲ 3.0)	▲ 6.1	▲ 9.6	▲ 1.4	▲ 5.2	2.7
12	▲ 0.5	0.2	▲ 0.5 (▲ 1.8)	1.8	▲ 6.3	▲ 1.6	▲ 1.8	5.3
31. 1	▲ 3.0	▲ 1.1	▲ 1.3 (▲ 2.8)	▲ 5.3	▲ 8.3	▲ 1.5	▲ 1.3	3.7
2	▲ 1.5	▲ 0.3	▲ 1.9 (▲ 3.4)	4.2	▲ 0.4	▲ 3.5	▲ 1.2	3.4

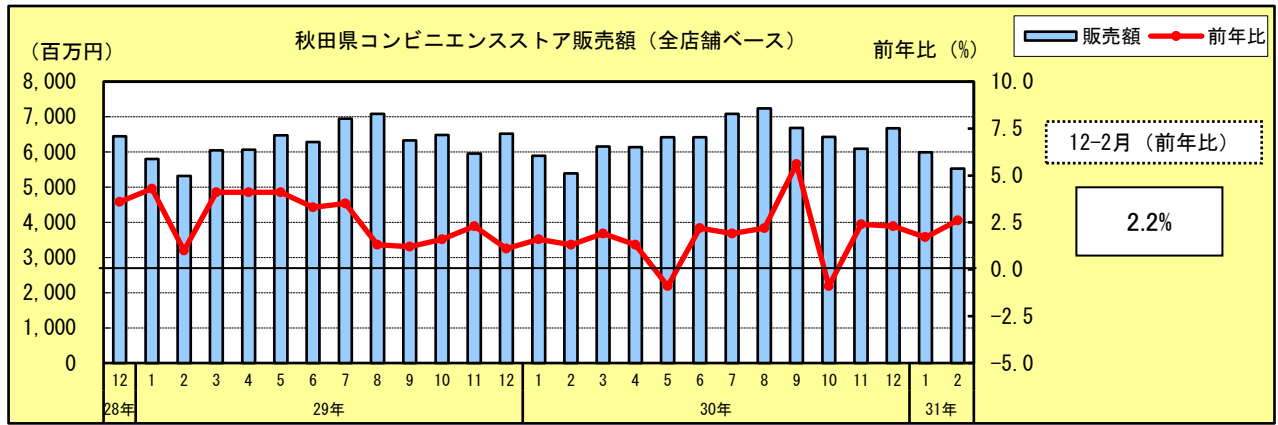
(注) 1. 前年比の()書きは既存店ベース

2. 30年分は年間補正済

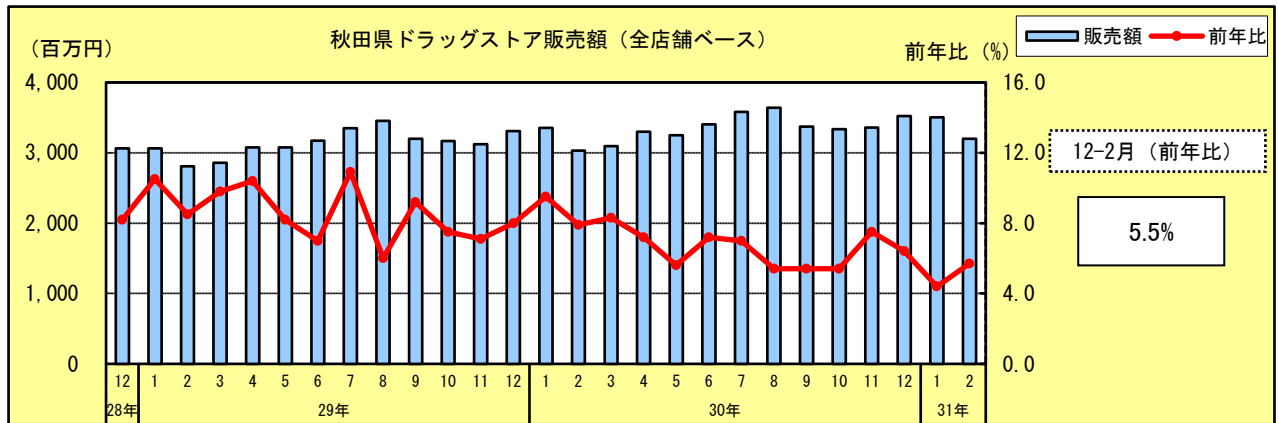
3. 家庭用品は、家具、家庭用電気機械器具を含む

【資料出所：経済産業省、東北経済産業局】

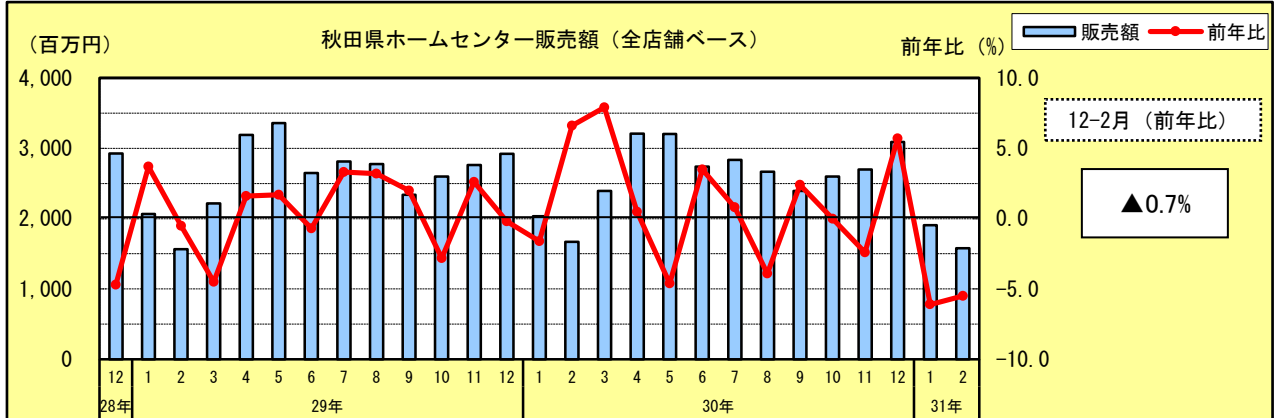
(2) コンビニエンスストア販売額



(3) ドラッグストア販売額



(4) ホームセンター販売額



『コンビニエンスストア販売額(全店舗ベース)』

区分	(前年比: %)		
	全国	東北	秋田県
29年	2.4	1.4	2.6
30年	2.0	0.4	1.7
30. 1-3	2.1	0.1	1.6
4-6	1.6	▲0.2	0.8
7-9	2.6	1.7	3.2
10-12	1.6	0.1	1.2
30. 10	0.0	▲2.2	▲0.9
11	2.0	0.8	2.4
12	2.8	1.7	2.3
31. 1	2.6	1.4	1.7
2	3.8	2.2	2.6

『ドラッグストア販売額(全店舗ベース)』

区分	(前年比: %)		
	全国	東北	秋田県
29年	5.4	6.3	8.5
30年	5.9	5.7	6.9
30. 1-3	7.4	6.7	8.6
4-6	6.1	6.1	6.7
7-9	5.5	5.4	6.0
10-12	4.8	4.8	6.4
30. 10	6.3	5.1	5.4
11	4.4	5.1	7.5
12	3.9	4.3	6.4
31. 1	4.9	4.7	4.4
2	4.4	6.0	5.7

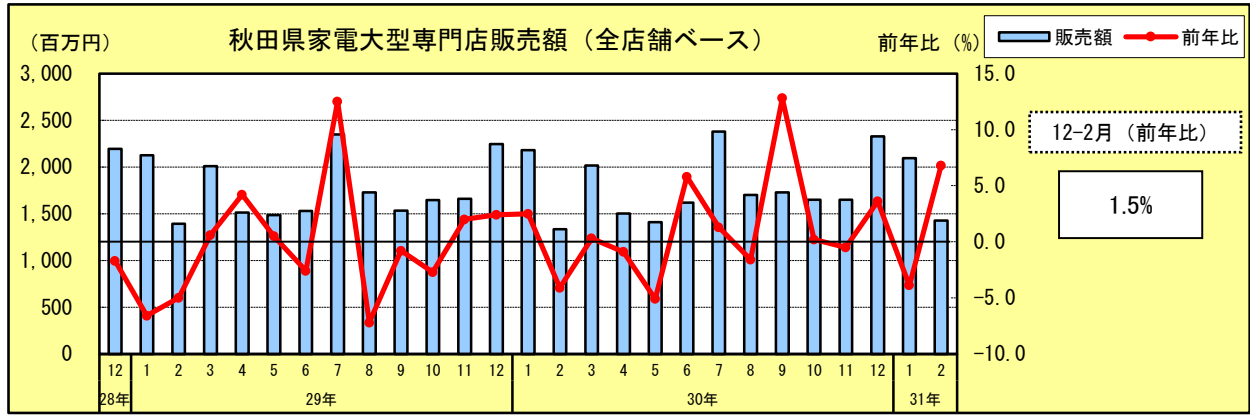
『ホームセンター販売額(全店舗ベース)』

区分	(前年比: %)		
	全国	東北	秋田県
29年	▲0.4	▲0.4	0.8
30年	▲0.3	▲0.5	0.9
30. 1-3	▲0.5	0.6	4.2
4-6	▲2.0	▲1.7	▲0.5
7-9	0.8	▲0.8	▲0.4
10-12	0.6	▲0.0	1.2
30. 10	5.6	0.7	0.0
11	▲2.4	▲3.6	▲2.4
12	▲0.8	2.4	5.7
31. 1	▲2.0	▲5.0	▲6.1
2	▲1.4	▲1.9	▲5.5

(注) 30年分は年間補正済

【資料出所: 経済産業省、東北経済産業局】

(5) 家電大型専門店販売額



『家電大型専門店販売額(全店舗ベース)』

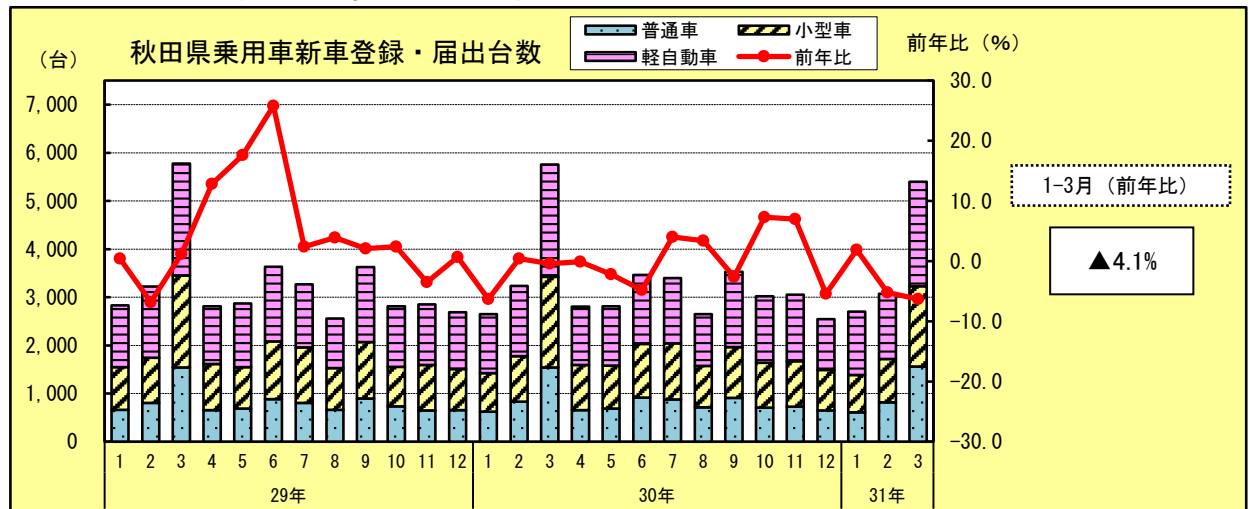
(前年比：%)

区分	全国	東北	秋田県
29年	3.1	0.2	▲ 0.2
30年	2.1	▲ 0.4	1.3
30. 1-3	2.4	▲ 1.1	0.1
4-6	2.9	▲ 1.0	0.0
7-9	0.9	0.8	3.5
10-12	2.2	▲ 0.3	1.4
30. 10	0.0	▲ 2.9	0.2
11	▲ 1.7	▲ 2.5	▲ 0.5
12	6.5	3.3	3.6
31. 1	0.2	▲ 1.0	▲ 3.9
2	0.3	0.6	6.8

(注) 30年分は年間補正済

【資料出所：経済産業省、東北経済産業局】

(6) 乗用車新車登録・届出台数



『乗用車新車登録・届出状況』

(前年比：%)

区分	全国	東北	秋田	普通車	小型車	軽自動車
29年	5.8	4.8	4.2	2.4	5.5	4.2
30年	0.1	▲ 0.8	▲ 0.1	2.2	▲ 1.6	▲ 0.3
30. 4-6	▲ 1.8	▲ 3.7	▲ 2.6	1.5	▲ 2.5	▲ 4.8
7-9	0.9	▲ 0.3	1.3	5.7	▲ 3.5	2.6
10-12	5.1	5.8	3.1	2.5	3.4	3.2
31. 1-3	▲ 2.1	▲ 1.4	▲ 4.1	▲ 0.2	▲ 7.8	▲ 3.8
30. 11	7.4	7.0	7.0	12.7	▲ 0.2	9.5
12	▲ 3.3	0.1	▲ 5.4	▲ 0.8	▲ 2.1	▲ 10.3
31. 1	0.9	▲ 0.5	1.9	▲ 1.9	▲ 3.1	7.2
2	▲ 0.1	1.0	▲ 5.2	▲ 1.7	▲ 5.0	▲ 7.3
3	▲ 5.3	▲ 3.3	▲ 6.3	1.3	▲ 11.2	▲ 7.3

(注) 普通車および小型車の31年3月分は、東北運輸局の速報値

【資料出所：日本自動車販売協会連合会、全国軽自動車協会連合会】

2. 生産活動 … 緩やかに持ち直している

電子部品・デバイスは、高水準で推移している。スマートフォン向けが減少する一方、自動車向けは増加している。

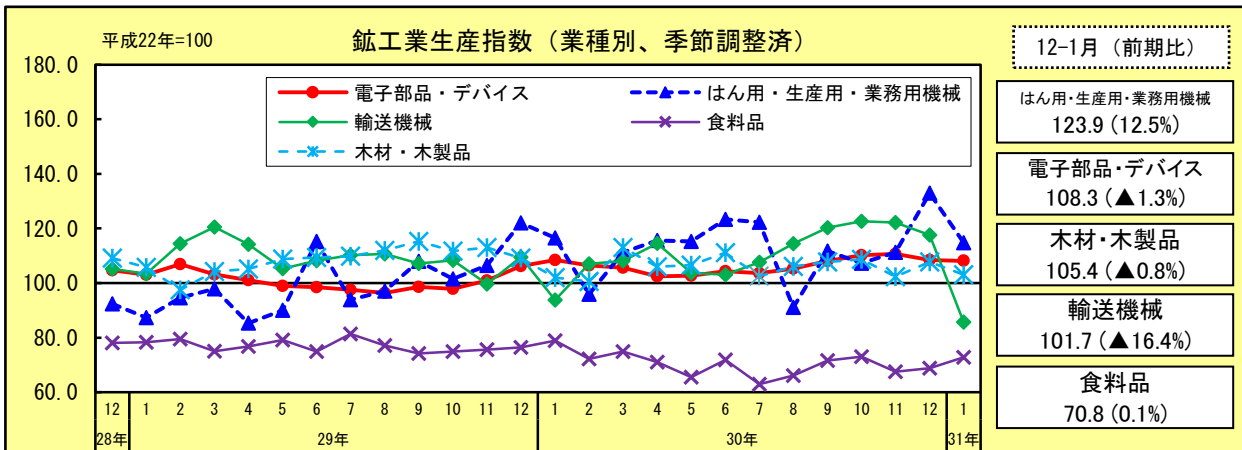
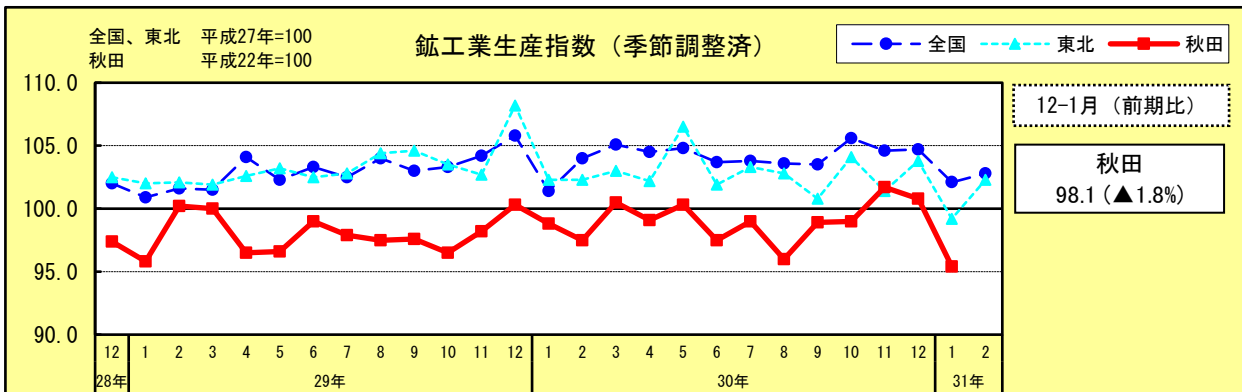
はん用・生産用・業務用機械は、一部に弱さがみられるものの、堅調となっている。

輸送機械は、堅調となっている。ただし、一時的な生産水準の低下の影響がみられる。

食料品は、清酒が増加している。

木材・木製品は、受注が堅調となっており、高水準となっている。

このように、生産は、緩やかに持ち直している。



『鉱工業生産指数』

（全国、東北は平成27年=100、秋田は平成22年=100 季節調整済指数、年及び前年比は原指数）

区分	全国 指数	東北 指数	秋田		電子部品・デバイス クイット=3546.1		はん用・生産用・業務用機械 クイット=1270.8		輸送機械 クイット=694.5		食料品 クイット=626.2		木材・木製品 クイット=462.9		
			指数	前月(期)比%	前年比%	指数	前月(期)比%	指数	前月(期)比%	指数	前月(期)比%	指数	前月(期)比%		
29年	103.1	103.5	98.1		▲ 0.9	100.7		100.7		109.3		77.3		108.7	
30年	104.2	103.0	99.2		1.1	106.5		112.8		111.4		70.7		106.4	
30. 1-3	103.5	102.5	98.9	0.6	0.0	106.8	5.0	107.9	▲ 1.9	103.0	▲ 2.6	75.3	▲ 0.4	105.2	▲ 5.5
4-6	104.3	103.5	99.0	0.1	1.6	103.2	▲ 3.4	118.0	9.4	107.1	4.0	69.5	▲ 7.7	107.9	2.6
7-9	103.6	102.3	98.0	▲ 1.0	0.3	105.7	2.4	108.4	▲ 8.1	114.1	6.5	66.9	▲ 3.7	105.4	▲ 2.3
10-12	105.0	103.1	100.5	2.6	2.5	109.8	3.9	117.2	8.1	120.8	5.9	69.8	4.3	106.3	0.9
30. 10	105.6	104.1	99.0	0.1	3.4	110.2	1.9	107.3	▲ 3.9	122.6	1.9	73.0	2.0	108.7	0.9
11	104.6	101.4	101.7	2.7	4.5	110.7	0.5	111.3	3.7	122.2	▲ 0.3	67.5	▲ 7.5	102.4	▲ 5.8
12	104.7	103.8	100.8	▲ 0.9	▲ 0.4	108.5	▲ 2.0	132.9	19.4	117.6	▲ 3.8	68.8	1.9	107.8	5.3
31. 1	102.1	99.2	95.4	▲ 5.4	▲ 3.5	108.1	▲ 0.4	114.8	▲ 13.6	85.7	▲ 27.1	72.8	5.8	103.0	▲ 4.5
2	102.8	102.3													

(注) 1. 東北の2月は速報値

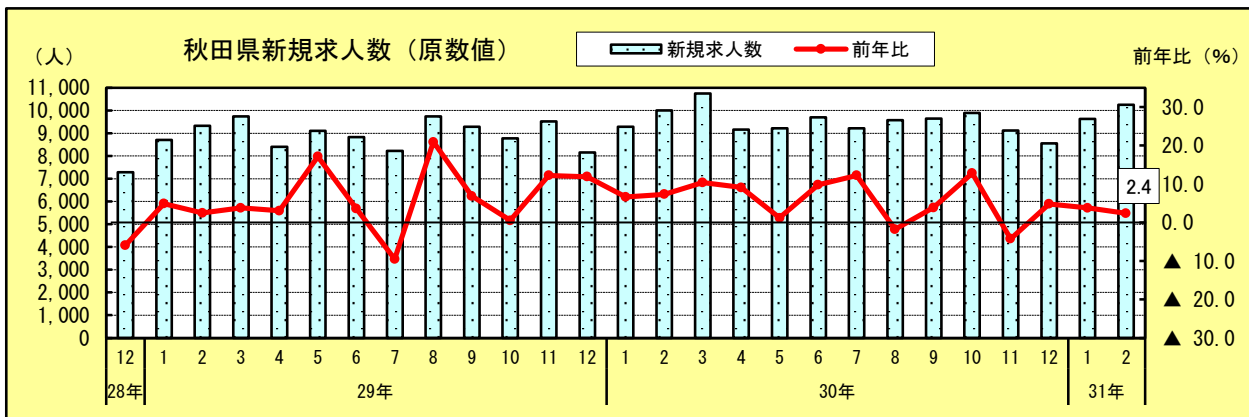
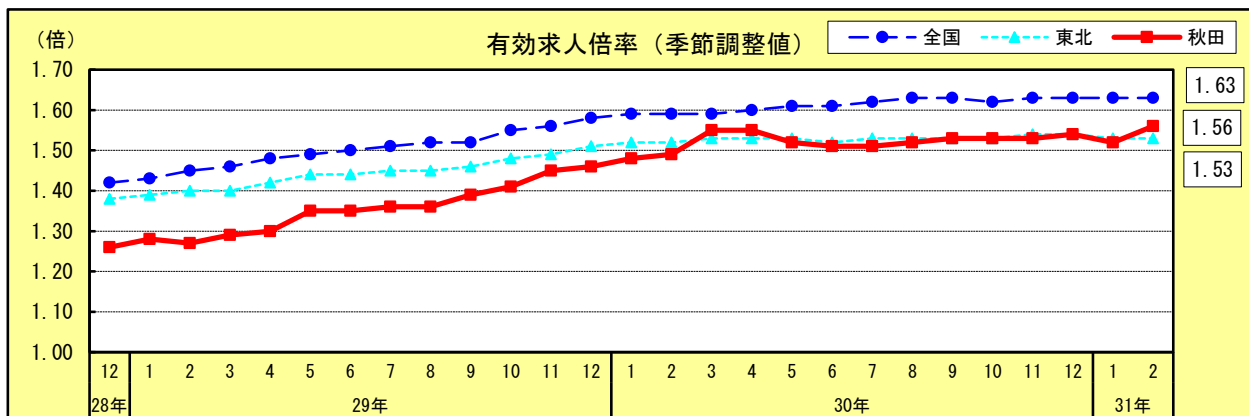
2. 全国の30年分は年間補正後

【資料出所：経済産業省、東北経済産業局、秋田県】

3. 雇用情勢 … 改善している

有効求人倍率は、高水準で推移している。
 新規求人数は、サービス業、建設業等で増加していることから、前年を上回っている。
 新規求職者数は、前年を下回っている。
 雇用保険受給者実人員は、前年を下回っている。

このように、雇用情勢は、改善している。



『一般職業紹介状況』

区分	有効求人倍率 〔季調値〕			新規 求人数	新規 求職者 数	事業主 都合 離職者 数	雇 用 保 険 受 給 者 実 人 員	
	全国	東北	秋田					
	倍	倍	倍					
29年	1.50	1.44	1.35	6.1	6.3	7.8	8.9	
30年	1.61	1.53	1.52	5.8	5.1	6.8	5.6	
30.	1-3	1.59	1.52	1.51	8.2	9.2	11.9	5.9
	4-6	1.61	1.53	1.52	6.6	2.2	7.8	5.8
	7-9	1.62	1.53	1.52	4.4	6.8	20.5	6.3
	10-12	1.62	1.53	1.53	4.2	1.4	6.0	4.2
30.	10	1.62	1.53	1.53	12.8	3.7	0.0	4.7
	11	1.63	1.54	1.53	▲ 4.3	▲ 0.4	25.4	4.8
	12	1.63	1.54	1.54	4.8	▲ 7.4	▲ 31.1	3.1
31.	1	1.63	1.53	1.52	3.8	▲ 0.9	13.9	0.3
	2	1.63	1.53	1.56	2.4	5.4	8.1	4.3

(注) 1. 新規求人数、新規求職者数は原数値
 2. 雇用保険受給者実人員は基本手当（延長給付を除く）
 3. 30年12月以前の有効求人倍率は改定値

【資料出所：厚生労働省、秋田労働局】

4. 設備投資 … 30年度は増加見込み

法人企業景気予測調査（31年1-3月期調査）でみると、30年度は、**製造業、非製造業**とも増加見込みとなっている。

『設備投資』

（前年同期比増減率：％）

区 分	下期		30年度		31年度
	全 産 業	(17.7)	▲ 5.2	(16.9)	3.8
製 造 業	(6.6)	▲ 17.3	(16.1)	1.3	20.1
非 製 造 業	(33.2)	11.7	(17.9)	6.8	20.9

(注) 1. ソフトウェア投資額を含む、土地購入額を除く

2. () 書きは前回調査結果

3. 集計企業数は30年度 82社（うち製造業27社、非製造業55社）

31年度 74社（うち製造業25社、非製造業49社）

【秋田財務事務所「法人企業景気予測調査(31年1-3月期調査)」】

5. 企業収益 … 30年度は減益見込み

法人企業景気予測調査（31年1-3月期調査）でみると、30年度は、**非製造業**で増益見込みとなっているものの、**製造業**で減益見込みとなっていることから、**全産業**では、減益見込みとなっている。

『経常利益』

（前年同期比増減率：％）

区 分	下期		30年度		31年度
	全 産 業	(▲ 20.1)	▲ 26.3	(▲ 13.4)	▲ 16.7
製 造 業	(▲ 26.8)	▲ 41.2	(▲ 21.1)	▲ 28.9	▲ 27.6
非 製 造 業	(▲ 3.7)	9.6	(0.3)	4.7	▲ 9.1

(注) 1. 電気・ガス・水道、金融・保険を除いた計数

2. () 書きは前回調査結果

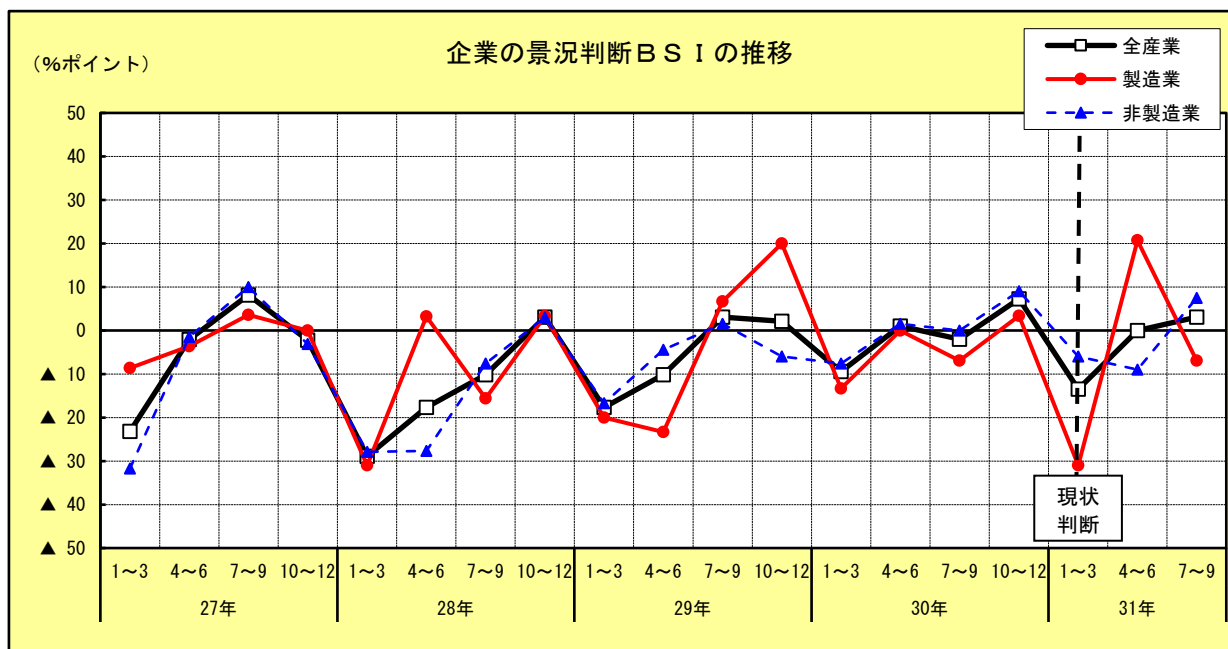
3. 集計企業数は30年度 69社（うち製造業23社、非製造業46社）

31年度 60社（うち製造業20社、非製造業40社）

【秋田財務事務所「法人企業景気予測調査(31年1-3月期調査)」】

6. 企業の景況感 … 「下降」超に転じている

法人企業景況予測調査（31年1-3月期調査）の景況判断BSIで見ると、現状（1-3月期）は、「下降」超に転じている。
 先行きは、全産業では31年4-6月期に「均衡」となり、31年7-9月期に「上昇」超となる見通しとなっている。



『企業の景況判断BSI【原数値】』

(前期比「上昇」-「下降」社数構成比)

(単位: %ポイント)

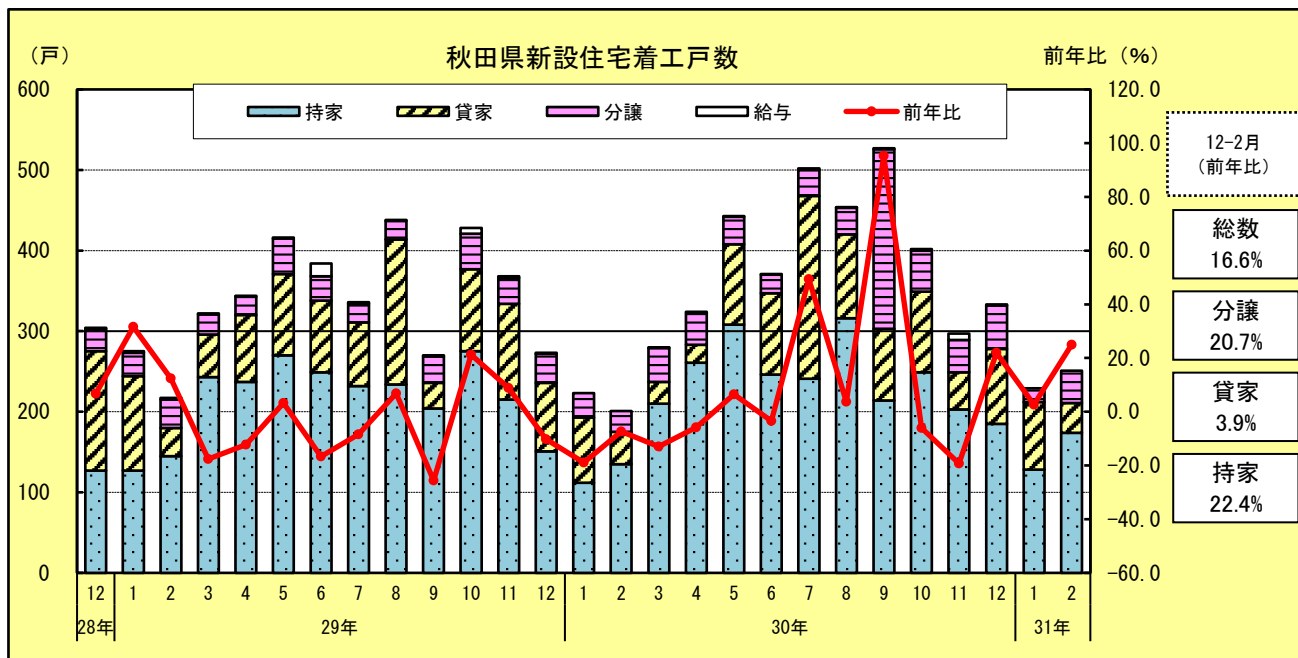
区分	30年10~12月 (30年10-12月期調査)	31年1~3月 現状判断	31年4~6月 見通し	31年7~9月 見通し
全産業	(7.3)	(▲ 17.7) ▲ 13.5	(▲ 4.2) 0.0	3.1
製造業	(3.4)	(▲ 20.7) ▲ 31.0	(20.7) 20.7	▲ 6.9
非製造業	(9.0)	(▲ 16.4) ▲ 6.0	(▲ 14.9) ▲ 9.0	7.5

(注) () 書きは前回調査結果

【秋田財務事務所「法人企業景況予測調査(31年1-3月期調査)」】

7. 住宅建設 … 前年を上回っている

住宅建設の動向を新設住宅着工戸数で見ると、持家、貸家、分譲とも増加しており、前年を上回っている。



『新設住宅着工戸数』

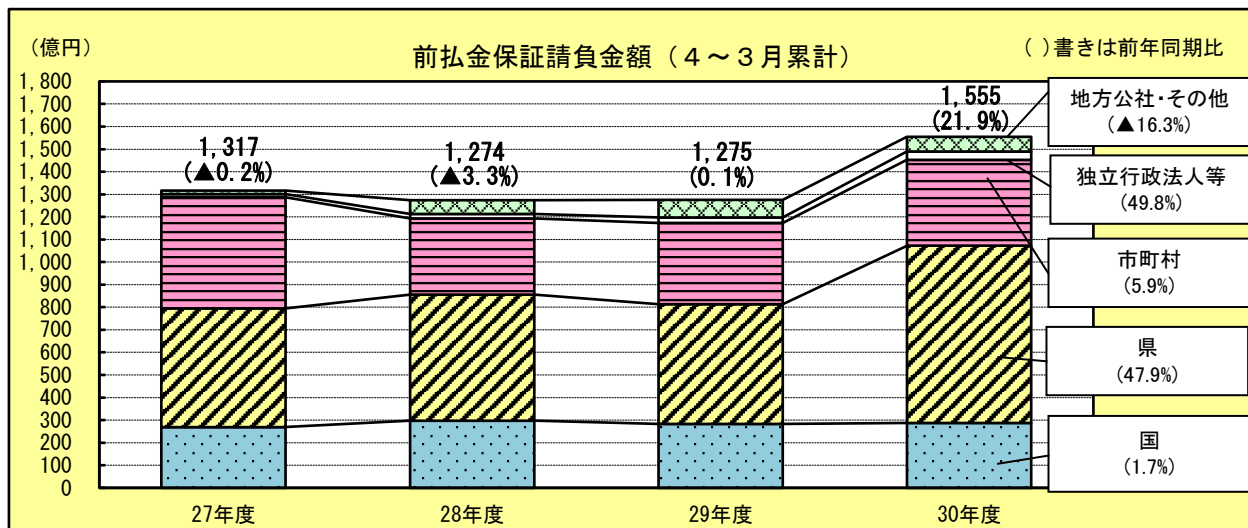
(前年比：%)

区分	全国	東北	秋田			
			持家	貸家	分譲	
29年	▲ 0.3	▲ 7.0	▲ 2.7	▲ 3.3	▲ 4.7	0.0
30年	▲ 2.3	▲ 3.8	7.0	3.8	▲ 4.2	66.8
30. 1- 3	▲ 8.2	▲ 2.4	▲ 13.5	▲ 11.3	▲ 27.8	10.1
4- 6	▲ 2.0	▲ 1.3	▲ 0.5	7.8	▲ 18.3	1.0
7- 9	▲ 0.2	▲ 5.7	42.0	15.1	44.3	264.6
10-12	0.6	▲ 5.2	▲ 3.5	▲ 0.6	▲ 21.9	29.5
30. 10	0.3	▲ 21.2	▲ 6.1	▲ 9.5	▲ 2.0	15.9
11	▲ 0.6	▲ 1.8	▲ 19.3	▲ 5.6	▲ 61.3	25.0
12	2.1	10.3	22.0	22.5	9.4	50.0
31. 1	1.1	▲ 9.8	2.7	14.3	3.7	▲ 43.3
2	4.2	0.1	24.9	28.9	▲ 7.5	53.8

【資料出所：国土交通省、秋田県】

8. 公共事業 … 前年度を上回っている

公共事業を前払金保証請負金額（平成30年度累計）で見ると、県、市町村、国等で増加していることから、前年度を上回っている。



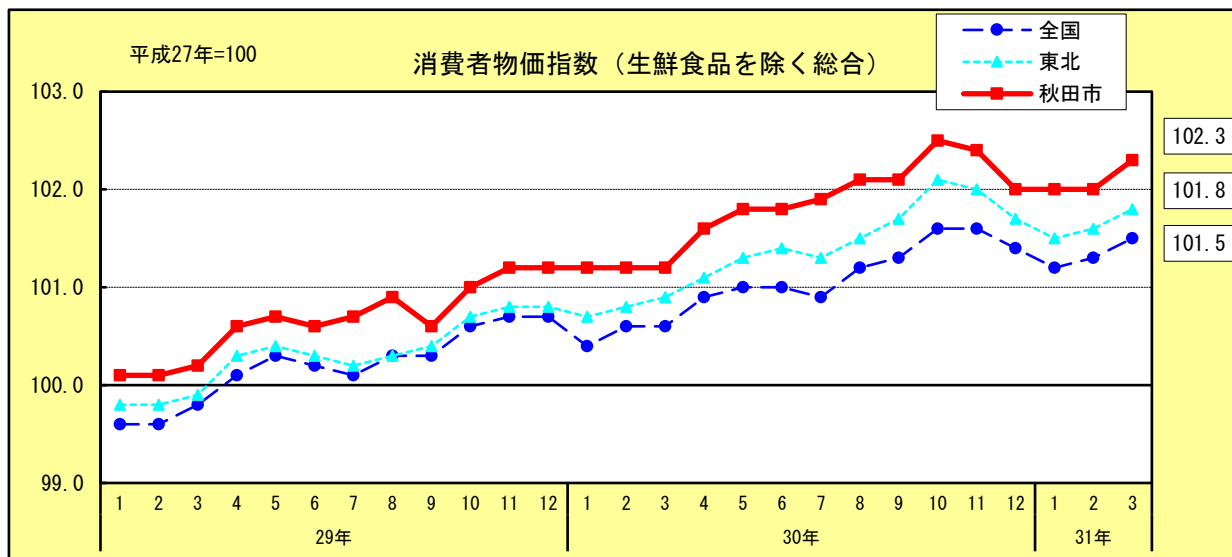
『前払金保証請負金額』 (単位: 億円、%)

区分	1月	2月	3月	4-3月 累計
29年度	38	52	127	1,275
30年度	30	54	180	1,555
前年同期比	▲ 23.0	3.3	41.8	21.9

(注) 1～3月の各月は単月の金額 【資料出所: 東日本建設業保証(株)ほか】

9. 消費者物価 … 前年を上回っている

生鮮食品を除く総合指数(秋田市)は、生鮮食品を除く食料、光熱・水道等が上昇していることから、前年を上回っている。

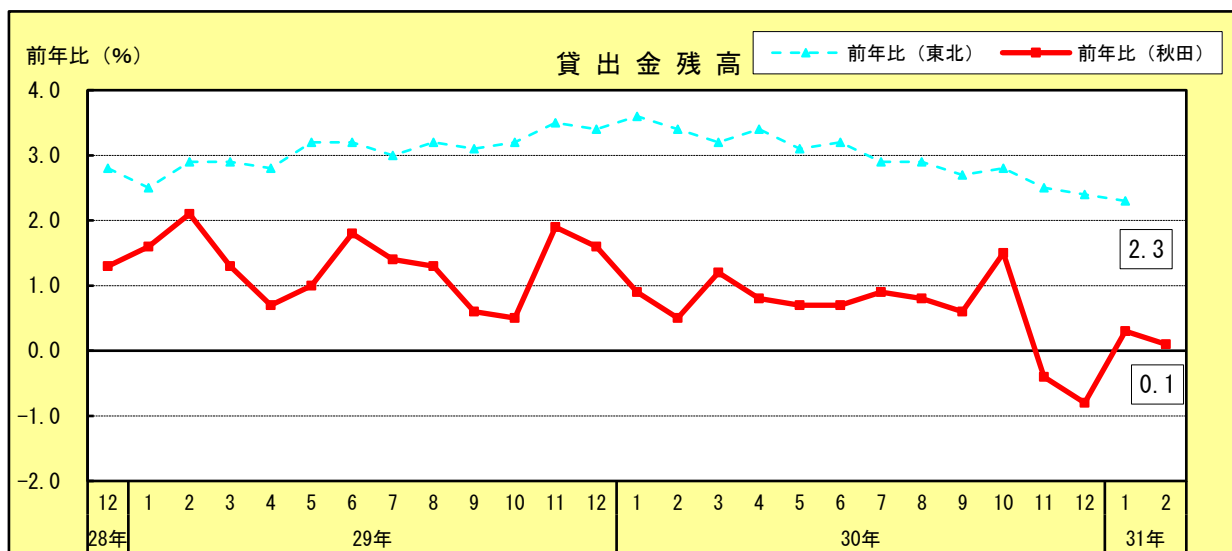


『秋田市消費者物価指数』（平成27年=100）

区分	総合 (生鮮食品除く)	前月比	前年比
29年	100.7	/	0.9
30年	101.8		1.1
30. 4- 6	101.7	0.5	1.1
7- 9	102.0	0.3	1.3
10-12	102.3	0.3	1.2
31. 1- 3	102.1	▲ 0.2	0.9
30. 11	102.4	▲ 0.1	1.1
12	102.0	▲ 0.4	0.8
31. 1	102.0	0.0	0.8
2	102.0	0.0	0.8
3	102.3	0.3	1.1

【資料出所：総務省】

10. 金融 … 貸出金残高は前年を上回っている

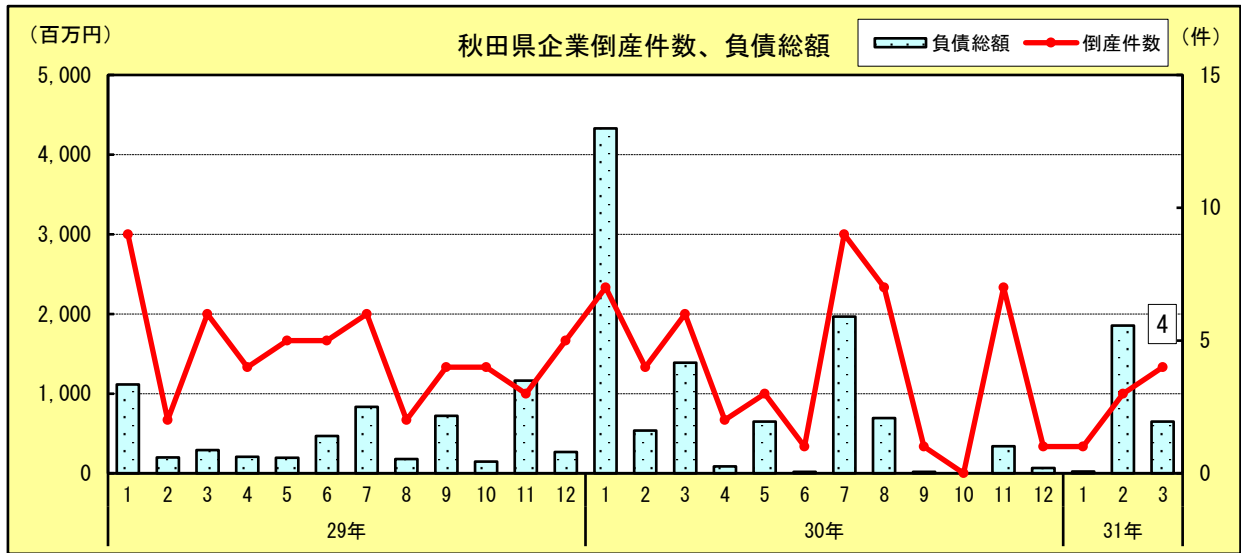


『貸出金残高』 (前年比: %)

区分	東北	秋田
30. 10	2.8	1.5
11	2.5	▲ 0.4
12	2.4	▲ 0.8
31. 1	2.3	0.3
2		0.1

(注) 1. 東北は東北地域に所在する銀行、信用金庫の集計
 2. 秋田は国内銀行(ゆうちょ銀行を除く)の秋田県内店舗の集計値
 【資料出所: 日本銀行仙台支店、秋田支店】

1.1. 企業倒産 … 件数、負債総額とも前年を下回っている



『企業倒産件数、負債総額』

区分	全国	東北	秋田			
	件数	件数	件数	前年比%	負債総額(百万円)	前年比%
29年	8,405	323	55	▲ 1.8	5,781	▲ 37.6
30年	8,235	358	48	▲ 12.7	10,089	74.5
30. 4-6	2,107	103	6	▲ 57.1	752	▲ 13.6
	2,017	94	17	41.7	2,678	54.8
	2,070	81	8	▲ 33.3	405	▲ 74.3
31. 1-3	1,917	88	8	▲ 52.9	2,520	▲ 59.7
30. 11	718	36	7	133.3	340	▲ 70.7
	622	20	1	▲ 80.0	65	▲ 75.7
31. 1	666	17	1	▲ 85.7	20	▲ 99.5
	589	37	3	▲ 25.0	1,852	244.9
	662	34	4	▲ 33.3	648	▲ 53.3

【資料出所：(株)東京商工リサーチ】

1 2. 最近の県内経済に関する地域の声

(1) 個人消費

- 最近では取り扱う品目を増やしていることから、レンジアップ総菜の人气が徐々に高まってきている。(スーパー)
- テレビ報道で健康に良いと紹介された商品の売上の伸びは、以前は一過性に終わっていたが、最近では一定期間継続する傾向がみられる。(スーパー)
- 人気店とのコラボレーション商品が、味の再現度も高いと評判であり好調。また、最近販売を開始した新商品のデザートが大人気となっているほか、高級感のあるホット飲料もご褒美感覚で購入する顧客が多く、リピーターの増加にもつながっている。(コンビニエンスストア)
- テレビの買い替え需要が続いており、50~60型の大型を中心に売行きが良かった。また、新生活に備えて小型の冷蔵庫や洗濯機の購入が目立ったほか、普段の家事を楽にするためロボット掃除機等の購入もみられた。(家電販売)
- 小型車、軽自動車とも最新モデルへの関心は高いものの、このところ新型車効果が一巡し、販売台数が伸びていない。(自動車販売)
- 秋田空港発のチャーター便就航により、冬季限定ツアーへの参加を目的に台湾からの団体客が増加した。加えて、国内個人客の台湾方面への旅行も人気となっている。(旅行代理店等)

(2) 生産活動

- スマホ向け部品は低調。自動車向けは年末に受注に落ち着きが見られたが、年明け以降は回復してきている。ただし、以前ほどの増勢はみられず懸念している。(電子部品・デバイス)
- 安定した受注により高操業となっている。現在も新たな受注に対応するため設計作業を進めている。(はん用・生産用・業務用機械)
- 中国向けを中心に高水準で推移していたが、年明け以降、景気減速の影響もあるのか、受注が減少傾向にある。(はん用・生産用・業務用機械)
- 部品を供給する車種の切替等に伴い設備の改良等を行ったこともあり、今期は生産水準を落としている。ただし、新年度以降は増加基調に戻るものとみている。(輸送機械)

(3) 雇用情勢

- 正社員への登用のほか、より長時間の勤務を望むパート社員のニーズに応えるため、希望に応じて雇用形態等を柔軟に選択出来るよう制度を整えている。従業員からは好評を得ており、当社でも慢性的な人手不足のなか労働力の確保につながっている。(卸売業・小売業)